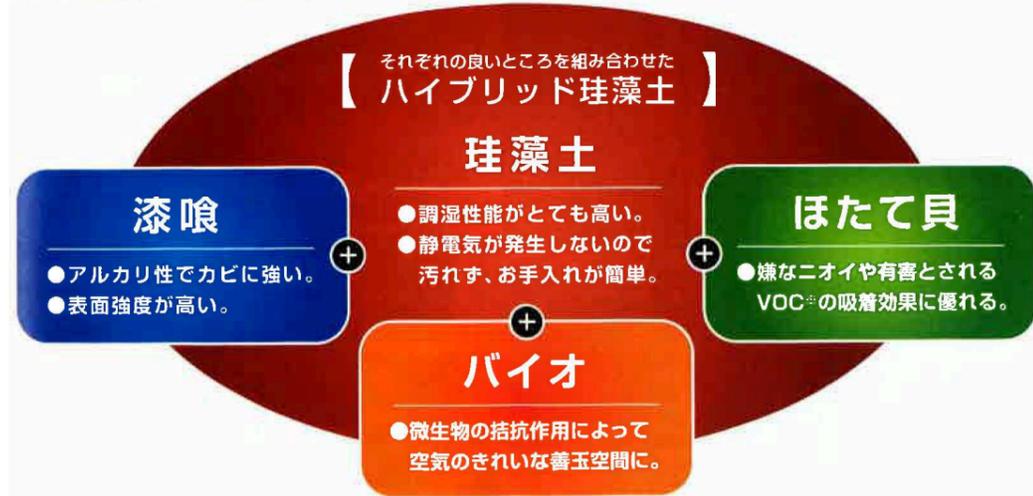


# 塗り壁材はどれも同じではない。 カビを防ぐ「ハイブリッド珪藻土」



「空気もインテリア」という考えのもと、健康で快適な室内環境を追求した塗り壁材「ハイブリッド珪藻土」。自然に吸放湿を行う壁が、快適な湿度を保ち、壁自体にカビが発生しないので空気中にカビを放散させることもない。いつでもきれいな空気を保つことができるのだ

カビの発生しない塗り壁材「ハイブリッド珪藻土」とは



珪藻土だけでも漆喰だけでもカビは発生する。珪藻土の高い調湿性、漆喰の表面強度とアルカリ性、ほたて貝の吸着性、さらに善玉菌によるバイオ効果。単体だけでは補えないが、それぞれのメリットを組み合わせた良いとこ取りの塗り壁材。それが「ハイブリッド珪藻土」だ

■この商品の価格

1万4700円/袋13.5kg

《標準装備》  
 ・メルシー・ライト (1万4700円/袋13.5kg) 施工目安: 約8.0~10.0㎡  
 ・2900円/㎡ 製品材工 (下地処理別途)  
 ・スーパー・メルシー (1万8900円/袋15.5kg) 施工目安: 約7.0~8.0㎡  
 ・3700円/㎡ 製品材工 (下地処理別途)  
 (上記価格は2014年3月31日までに引き渡しの場合)

決め手は吸放湿機能とアルカリ性と1㎡あたりの材料使用量の多さ

日本建築で古くから馴染みの深い塗り壁。近年では珪藻土や漆喰をはじめ、ほたて貝、火山灰など、塗り壁材の種類も数多くある。しかし、塗り壁材と言ってもどれも同じではない。成分や配合量、吸放湿機能によって効果は全く異なるため、しっかりと性能を見極めることが重要なのだ。

高温多湿の日本においてカビが生えない環境をつくるには、飽和せず調湿できて、カビに強いアルカリ性であることが重要だ。ところが、珪藻土は調湿性に優れるが表面強度が弱く、カビが好む中性。漆喰は表面強度が強くアルカリ性だが調湿性が低く、飽和してしまうとカビが生える。ほたて貝はニオイやVOC\*の吸着性に優れるが調湿性が低いと、単体ではどれも一長一短。これらを独自の配合で組み合わせ、良い所を重ねて生まれたのが「ハイブリッド珪藻土メルシー・シリーズ」だ。

主成分の珪藻土は60%以上を占め、吸放湿機能は約200g/㎡と非常に高い。副成分の漆喰は表面強度を高め、アルカリ性でカビの発生を防止。ほたて貝により吸着性にも優れている。また、1㎡あたりに約1.7kgも材料を使用する厚塗り材なので体積が大きく飽和しにくい塗り壁材だ。さらに善玉菌をつくるバイオとプラズマ効果によって「きれいな空気」環境まで実現できる。寝室や洗面室など部分的に施工することも可能なので、気軽に相談してみよう。

食物への効果実験① (2009年10月から継続実験中)



ハイブリッド珪藻土を使用したショールームで食物を放置。3年以上が経過しても全くカビが発生していない。

食物への効果実験② (2008年1月から継続実験中)



実験開始時の食物 | ハイブリッド珪藻土の空間 | ビニールクロスの空間

家事や掃除もラクラク。ハイブリッド珪藻土のこんな効果

- 部屋干しでも洗濯物がよく乾く**  
 吸放湿機能が高いハイブリッド珪藻土なら、洗濯物を部屋干ししても、一日で乾いてしまうほど。生乾きのニオイまで吸着してくれるので、室内の空気を快適に保ってくれる。  
 (イラスト: 一日で乾く生乾きのニオイもばい / ニオイも残る)
- ペットやタバコのニオイもしっかり脱臭、ヤニの付着も防ぐ**  
 ペットやタバコのニオイをしっかり脱臭。ヤニの付着を防いでキレイを保つ。また、ビニールクロスと違い、静電気が発生しないので掃除やお手入れも簡単。  
 (イラスト: 脱臭効果抜群 / 臭いも残る)

吸放湿機能はもちろん、ニオイの吸着効果に優れた「ハイブリッド珪藻土」で家事や掃除がラクにできる環境に。また、厚塗り材なので飽和しにくく、効果がずっと長続きする

塗り方や意匠を確認 空気の違いも実体験

ハイブリッド珪藻土の特徴や効果を詳しく説明してくれるショールーム。壁にはハイブリッド珪藻土が使われ、快



■川崎・高津ショールーム  
 住所/神奈川県川崎市高津区久地 1-15-2  
 問合せ/044-820-8117 時間/9:00AM~6:00PM(土日祝要予約) アクセス/東急田園都市線「高津」駅徒歩10分



ショールームでは塗り体験ができる。しっかりとレクチャーしてくれるので安心だ

さまざまな実証実験に基づいて開発されたハイブリッド珪藻土の効果

成分や吸放湿機能が異なる塗材によるカビ発生実験 (2011年7月)

【実験内容】

お湯を入れて結露させたアクリルBOX内に、成分や吸放湿機能の異なる3つのサンプルを置き、カビの発生に違いがあるか検証した。



メルシー・ライト  
 アルカリ性、吸放湿機能が(約200g/㎡)高い  
 防カビ剤を一切使用していない



中性、吸放湿機能が高い(150g/㎡以上)



アルカリ性、吸放湿機能が低い(150g/㎡以下)

【結果と結論】

吸放湿機能が高くて中性ではカビが発生。アルカリ性でも吸放湿機能が低いとカビが発生。吸放湿機能(150g/㎡以上推奨)が高く、カビが発生しにくいアルカリ性の塗材がオススメ。

カビの発生する条件を徹底的に調べ、アルカリ性で吸放湿機能が高ければ(150g/㎡以上推奨)カビが発生しないという結果に。食物による実証実験でも、効果は一目瞭然。空気がきれいな環境ではカビは発生しないのだ。このようにハイブリッド珪藻土はさまざまな実証実験に基づき開発されている。上記の実験は現在も続けられておりショールームで確認できる(全て同社調べ)

実例 吸放湿機能はまるで天然のエアコン

リフォームの検討中にハイブリッド珪藻土に出合った神奈川県Kさん。ショールームでの体感がよかったと語る。「ハイブリッド珪藻土は調湿や匂いを吸収する機能が強く、空気のきれいな空間になると教えてもらい、その場で色々な実験を見せてもらいました。ハイブリッド珪藻土が採用されているシ



ハイブリッド珪藻土の壁に、娘さんたちが絵を描いた。温かみあふれる空間だ

ョールームは、空気がとても澄んでいましたね。実際に体感できたことで、安心して採用できました」とKさん。暮らしはじめて4年。冬場は結露がなくなり、夏場の蒸すような暑さを感じなくなったそうだ。「うちではエアコンはリビングに1台あるだけで、寝室や子ども部屋にもありませんが、よほどの猛暑以外はエアコンを付けなくて快適に眠ることができます」とハイブリッド珪藻土の恩恵を身をもって感じている。



「きれいな空気環境でみんなが快適に過ごせています」とK夫人と2人の娘さん

\*VOC (揮発性有機化合物)。身体に害があるとされる物質。

もっと詳しく知るにはこちら  
**EM MAX/メルシー・シリーズ**

(株) EM MAX  
 〈住所〉神奈川県川崎市高津区久地1-15-2  
 (TEL) 044-820-8117  
 (URL) <http://www.emmax.jp>  
<http://www.emmax.jp/bio/>  
 〈販売エリア〉全国

この商品をもっと見たい方へ



これまでの珪藻土の効果がさらにアップしたメルシー・シリーズの特長や珪藻土建材の選び方がよく分かるカタログを差し上げます。また、ご自分で塗るための施工マニュアルも一緒に送付。お気軽にお問い合わせ下さい。

●まとめて資料を請求する際は、本誌の専用ハガキまたはFAX、または<http://www.housingnavi.jp/shiryou/>をご利用ください。

まとめて資料請求番号 No.342